



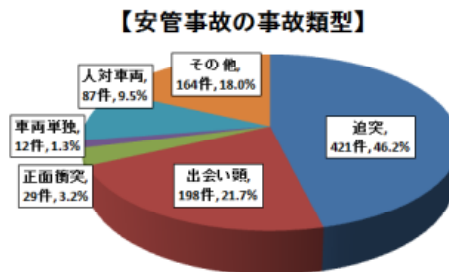
安全運転管理者選任事業所の交通事故発生状況

平成30年中

1 交通事故発生状況

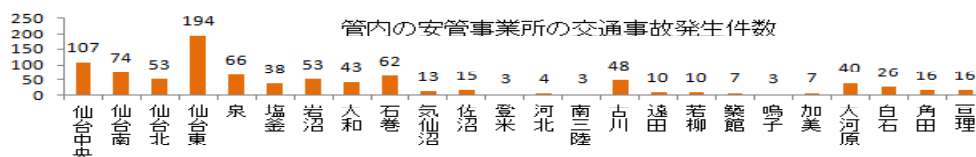
平成30年中の安全運転管理者選任事業所の従業員が第1当事者（原付以上）となった人身交通事故（以下「安管事故」という。）は、前年と比較して、発生件数及び負傷者数は減少しましたが、死亡事故は件数、死者数ともに同数でした。

事故類型別では追突事故が全安管事故の約半数（46.2%、911件中421件）を占め、違反別では安全不確認が33.8%（308件）と最も多くなりました。

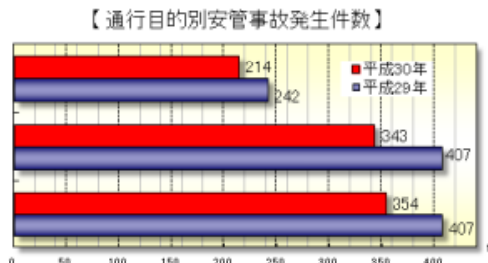


【安全運転管理者選任事業所の交通事故発生状況】 (平成30年中)

区分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年	911	6	6	66	1,113	1,179
前年	1,056	6	6	77	1,227	1,304
増減	-145	0	0	-11	-114	-125
率	-13.7	0.0	0.0	-14.3	-9.3	-9.6



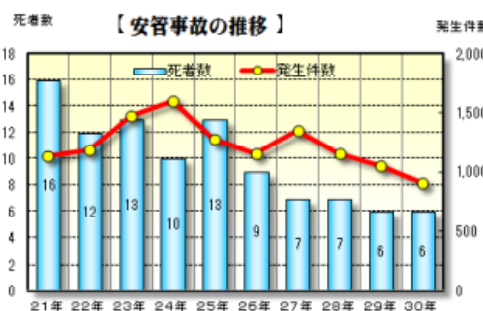
通行目的別では、全ての区分において前年より減少しました。また、死亡事故は業務中2件、通勤中1件、そして業務外に3件発生し、飲酒事故は通勤中に2件、業務外に7件発生しました。



2 発生推移 (平成21年～平成30年)

過去10年間の安管事故の推移を見ると、発生件数は平成24年をピークに翌年から減少したものの、平成27年に一旦増加し、その後再び、減少傾向となりました。

また、死者数は平成21年以降10人台で増減を繰り返していましたが、平成26年から減少傾向が続いており、平成29年及び平成30年の死者6人は記録が残る昭和50年以降、最も少なくなりました。（過去の安管事故年間最多死者数は、平成8年の39人）



区分	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
発生件数	1,134	1,187	1,481	1,601	1,277	1,161	1,349	1,155	1,056	911
死者数	16	12	13	10	13	9	7	7	6	6

3 死亡事故発生状況（平成30年中）

No.	発生年月日等							第1当事者					事故類型		死者		
	年	月	日	時	分	曜	発生場所	路線	性別	年齢	車種	通行別	事業所管轄署	類型A	類型B	状態	年齢
1	30	1	29	12	20	月	気仙沼市本郷	県道	男	28	軽乗	業務外	気仙沼署	人対四輪	横断中	歩行者	76
2	30	7	22	10	0	日	東松島市川下	国道	男	62	自二	業務外	仙台東署	二輪対四輪	追突	二輪運転	62
3	30	7	26	22	25	木	登米市中田町	市道	男	60	軽貨	業務中	佐沼署	四輪単独	工作物衝突	四輪運転	60
4	30	11	19	17	40	月	宮城野区福田町	市道	女	66	軽乗	通勤中	仙台東署	四輪単独	工作物衝突	四輪運転	66
5	30	12	15	23	30	土	多賀城市八幡	国道	男	35	軽乗	業務外	仙台東署	人対四輪	横断中	歩行者	56
6	30	12	27	14	0	木	登米市東和町	三陸道	男	24	普乗	業務中	気仙沼署	四輪対四輪	追突	四輪同乗	56

4 安管事故の通行目的別発生特徴等（平成30年中）

(1) 業務中の事故

区分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年	214	2	2	17	268	285
前年	242	2	2	14	286	300
増減	数	-28	0	0	3	-18
率		-11.6	0.0	0.0	21.4	-6.3
						-5.0

- 時間帯別では、8時台が23件(10.7%)で最も多く、次いで14時台が多い。
- 曜日別では火曜日が52件(24.3%)で最も多く、次いで水曜日が40件と多い。
- 職業別では、卸・小売業が33件(15.4%)が多い。
- 第1当事者の年齢別では、30歳代が51件(23.8%)で最も多く、次いで50歳代が多い。
- 事故類型別では、追突事故が104件(48.6%)で最も多い。（全人身交通事故における追突事故の構成率は、41.5%、6,815件中2,831件）
- 死亡事故が2件2人発生。

(2) 通勤中の事故

区分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年	343	1	1	21	406	427
前年	407	2	2	37	449	486
増減	数	-64	-1	-1	-16	-43
率		-15.7	-50.0	-50.0	-43.2	-9.6
						-12.1

- 時間帯別では、7時台が94件(27.4%)で最も多く、次いで18時台が47件と多い。
- 職業別では、製造業が65件(19.0%)が多い。
- 事故類型別では、追突事故が177件(51.6%)で最も多く、次いで出会い頭が62件と多い。
- 違反別では、前方不注意が123件(35.9%)で最も多く、次いで安全不確認が100件と多い。
- 死亡事故が1件1人、飲酒事故が2件(軽傷者2人)発生。

(3) 業務外の事故

区分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年	354	3	3	28	439	467
前年	407	2	2	26	492	518
増減	数	-53	1	1	2	-53
率		-13.0	50.0	50.0	7.7	-10.8
						-9.8

- 時間帯別では、17時台が38件(10.7%)で最も多く、次いで16時台が多い。
- 通行目的別では、買物が121件(34.2%)で最も多い。
- 事故類型別では、追突事故が140件(39.5%)で最も多い。
- 違反別では、安全不確認が144件(40.7%)で最も多く、次いで前方不注意が多い。
- 死亡事故が3件3人、飲酒事故が7件13人（全て軽傷）発生。